

UNITED FOR A JUST FUTURE

IndustriALL Global Union 3rd Congress
14-15 September 2021

ベラルーシに関する緊急動議

ベラルーシで市民社会の破壊を阻止し、独立労働組合の権利を保護

インダストリアル・グローバルユニオン執行委員会は 2020 年 8 月、ベラルーシ当局による選挙違反、平和的な抗議に対する大規模な抑圧、暴力および拷問を非難した。その後、独裁主義のルカシエンコ大統領は国家当局に、市民活動家や労働組合活動家の迫害を目的とする行動を続けるよう絶えず指示した。その間に、3 万人を超える抗議者が逮捕された。人権保護団体が確認したところによると、今日現在、ベラルーシにはすでに 667 人の政治犯がいる。その中にはベラルーシ独立労働組合の組合員もいる。ベラルーシ冶金工場で警告ストを試みた代償として、3 人の組合活動家、Ihar Povarau、Aliaksandr Babrou、Yauhen Hovar が 2 年半から 3 年の実刑判決を受けた。数百人の組合員が市民活動を理由に逮捕されたり、罰金を科せられたりした。多くの人々が失業した。使用者は、最も活動的な組合員、選出された組合幹部の労働契約延長に異議を唱えている。

野党指導者は国外脱出を迫られ、Maryja Kalesnikawa の場合は虚偽の容疑で 11 年の実刑判決を言い渡された。

政府は平和的な抗議を弾圧しただけでなく、独立メディアを禁止し、市民社会組織や人権組織を解体した。さらに政府は、1 人の民主派ブロガーを捕えるためだけに、ある EU 加盟国から別の EU 加盟国への国際便を緊急着陸させた。

第 3 回インダストリアル・グローバルユニオン大会は、エリート集団が刑事告発や差別的措置を用いて、国内の市民や労働者から着実かつ段階的に民主的権利と労働組合権を奪うために、あらゆる機会を利用していることを確認する。

インダストリアル・グローバルユニオン大会は、

- ベラルーシ共和国における継続的な暴力について懸念を表明する。
- 労働組合員の迫害を非難する。
- ベラルーシの労働運動との連帯を表明する。
- インダストリアル・グローバルユニオン執行委員会と全加盟組織に対し、ベラルーシの独立労働組合を全面的に支援するよう求める

- ILO に対し、ILO 条約、特に結社の自由と労働協約交渉権（スト権を含む）に関する違反の報告・非難への全面支援を求める。

